

令和6年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

| | | | |
|-----------------------|--|----------------------------------|---|
| 団体名 | フードパントリー&みんなの居場所ぶどうの木 | | |
| 団体の属性 | <input type="checkbox"/> ヘルパルグループ・当事者等 | | <input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等 |
| | <input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等 | | |
| 助成区分 | <input checked="" type="checkbox"/> 一般助成 | <input type="checkbox"/> 協働モデル助成 | 協働モデル助成 本会提示テーマ |
| 助成事業名 | 子育て支援のための子ども食堂等イベント事業 | | |
| 事業の目的 | 子育て支援としての繋がりや地域交流の場となれることを目指す。イベントなどの機会に触れることの少ない貧困に近い状況の子供たちに対し、体験の機会の提供とともに親子の触れ合いの時間や保護者が安心して参加できる時間を提供する。 | | |
| 事業概要 | <p>気候の安定した時期に野外子ども食堂を開催。(調理は屋内)四季に応じたイベントの開催。子ども食堂は貧困家庭ではなく子育て中の家庭で広く参加者を募り、子育て世帯の交流やホッと息抜きできるような機会を提供。子育て家庭での交流や親睦、同時に保育士ボランティアでの子育て相談なども行い、必要であれば連携する行政や支援団体の案内(不登校支援など)も検討している。</p> <p>→子ども食堂 計5回 クッキング教室 計1回 合計6回の事業を実施した。</p> | | |
| 成果や課題 | 参加者は毎回親子ともども楽しんでもらった。「リフレッシュできた」という感想が多く、ボランティアスタッフとして参加した方々も同様に「楽しかった、リフレッシュできた」との声が上がった。ボランティアスタッフも毎回同じメンバーではなく色々な年代層を受け入れることで地域交流の場となることができた。普段体験できない企画を無償で提供することで体験に乏しくなってしまう生活困窮世帯へ楽しさや思い出作りに協力できたのではないと思う。 | | |
| 今後の展望 | 今年は半分がオープン型(だれでも参加)の子ども食堂、半分がクローズドの子ども食堂を行った。団体の基幹活動である食品配布会にて要支援家庭と既に繋がっていることを鑑みると、次年度以降は福祉の側面も大きいクローズドの活動に注力していきたい。 | | |
| 活動の様子が分かる画像 2枚程度添付 | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>12月開催 クリスマス特別野外イベント</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>1月開催 親子クッキング教室</p> </div> </div> | | |